



人情・情緒を引き継ぎ
大きなコミュニティをはぐくむ

FREE AWAJI BOOK 8890

フリーアワジブック 8890
2017.06.01 発行

発行：一般社団法人 読書エリマエプロジェクト
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105 フラタスアワジビル1311
Tel 03-3526-9883 Fax 03-3526-0090 www.waterras.com



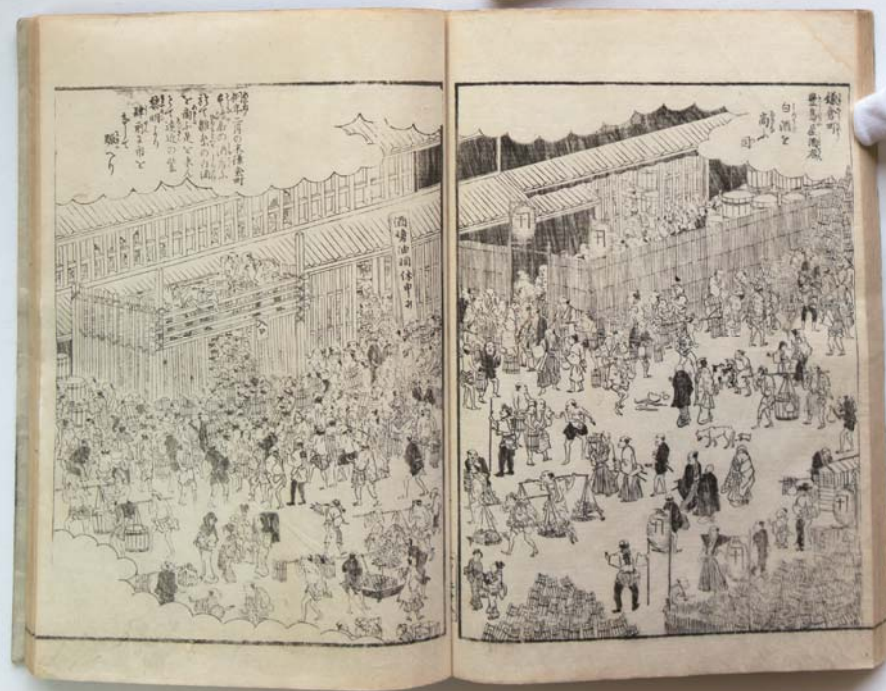
編集：グッドモーニング株式会社 水代 遼
www.goodmornings.co.jp

¥0

2017 June No.18
Call me FAB!

FREE AWAJI BOOK 8890

A Smooth Sip,
Perfect Accompaniment
to Your Days in the Sun.



特集：神田にまつわるお酒の話

(上)『絵本江戸土産』嘉永元年(1848)

(下)『江戸名所図会』天保7年(1836)

waterras.com



1899
夏の抹茶ビアガーデン
始まります。



10種のビール、その他 飲み放題 ¥3,500(税込) 2時間制。
ぜひ一緒にビールに良く合うユニークな14品のお茶料理もお楽しみください。



GREEN TEA
RESTAURANT
1899
OCHANOMIZU

GREEN TEA RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-4

TEL 03-3251-1150 FAX 03-3251-0270 <http://1899.jp/>

A Smooth Sip, Perfect Accompaniment to Your Days in the Sun.



神田にあふれる情と活気の秘訣。

それはこの店が作る、あの店で飲める珠玉の一杯の仕業です。

今年また、喉元過ぎて「暑さ」忘れる夏の日を。

東京最古の酒舗。居酒屋のルーツは神田にあった…！



夏目漱石の母校であるお茶の水小学校の裏手に、「豊島屋本店」の店舗兼本社ビルはある。慶長元年（1596年）、かの関ヶ原の戦いの少し前に、神田橋と鎌倉橋のほとりの川岸で酒屋として創業した豊島屋は、現代に残るさまざまな酒文化のルーツと言われている。

その一つが、雛祭りの定番となっている“白酒”。十六代目当主の吉村俊之さんが、丁重に扱い取り出した江戸時代後期の書物『江戸名所図会』の一卷には、江戸の街で暮らす民衆が豊島屋で白酒を買い求める様子が描かれている。

「豊島屋は白酒の元祖と言われておりまして、“山なれば富士、白酒なれば豊島屋”と親しまれていました。当時の豊島屋は江戸城のそばにあり、店に集まる武士や商人、職人などに向けてお酒とおつまみを提供。それが現在の“居酒屋”の元になっているとも言われています」と吉村さん。聞くと、おつまみの豆腐田楽の味噌を辛めに味付けて酒が進むようにしたり、空いた酒樽を味噌屋や醤油屋に売って

利益を得た分、お客さんにお酒を安く提供したりと、とっても商売上手な創業者だったようだ。

明治時代中期には酒造りを開始。現在は東村山にある豊島屋酒造でオリジナルの日本酒を醸造している。地域とのつながりも深く、看板銘柄「金婚」はお神酒として神田明神に納められ、5月の神田祭では店先に集まる町会の神輿の人々にもふるまわれる。また小川町「やぶ仙」は創業以来ずっと豊島屋の銘柄を扱う蕎麦屋。神田に来たなら、蕎麦屋で日本酒という粋な飲み方は外せない。



A Smooth Sip, Perfect Accompaniment to Your Days in the Sun.



店舗には看板銘柄の「金婚」など多彩な酒が試飲もできる。

「“神田は日本のカルチエ・ラタン”なんて言われますが、繁華街でありながらも文化の香りが漂うところがこの街の魅力。そして日本酒もまた、大切にすべき日本文化の一つだと私は思っています。蔵人の研ぎ澄まされた五感と技術をもってしか仕込むことができない日本酒は、世界中で最も造るのが難しいお酒と言われています。私は家業に入るまで半導体の研究員として長年デジタル技術の世界にいたのですが、改めて酒造りの現場を目の当たりにした時、人間のアナログの力のすごさを実感しました。豊島屋本店として、日本酒という文化の一端を担えていることは私たちの喜びであり、誇りでもあります。」

そんな吉村さんの行動指針は、守るものは守り、変えるべきは大胆に変えるという『不易流行』。伝統や人との御縁を守りつつも、新商品の開発やお酒と食の会（金婚会）開催など、日本酒界を盛り上げるべく進化を続けている。



十六代目当主の吉村さん。日本空港ビルデング等と共同開発した羽田・成田空港限定の「和想」と一緒に。

「お酒は文化であり、人生を豊かにしてくれるもの。一人でも多くの方に日本酒の魅力が伝わり、未来に渡って楽しく飲み継がれていくと良いなと思っています。」



金庫に大切に保管されている『江戸名所図会』。豊島屋が本当に江戸時代から存在していたことを実感…！

株式会社 豊島屋本店

千代田区猿楽町1-5-1 ☎ 03-3293-9111

☎ 10:30~17:00 休 土（不定休）

「とりあえず生」は卒業。 はじめましてクラフトビールの世界

文化を深掘りするのが大好きな神田の街が今、“クラフトビールの聖地”となりつつある。小規模なブルワリーで、職人が技術と個性をギュギュッと詰めこんで完成させるクラフトビールは、味わいや製法や地域やら、掘れば掘るほど面白い。まさに、この街の気質にぴったりのお酒なのだ。

淡路町のワテラス 1 階にオープンして今夏で 2 周年を迎える WIZ。日・米を中心に常時 20～31 種のクラフトビールがそろう、うち 3

種は定番、ほかはなくなり次第の入れ替え制。毎日のラインナップは HP や SNS で見ることができ、生粋のビールファンはお目当ての銘柄のために店に足を運ぶ。「味はもちろん、飲み方も多彩。喉越しを楽しむものから、1 時間くらいじっくり時間をかけて香りの変化を楽しむビールもあります。こんなビールもあるのかと、これまで持っていたビール観が壊されますよ」と店長の松本悠二さんは話す。



内装は木のぬくもりを全面に。ずらりと並ぶタップもおしゃれ。



「外堀ウィットエール」700 円 (左) など。銘柄によってグラスを変えることでより味わいの個性を引き出す。

A Smooth Sip, Perfect Accompaniment to Your Days in the Sun.



ビールを愛する店長の松本さん。スタッフ共にその魅力を伝える。



WIZ がユニークなのは、親会社が生産工場に設備を造る会社だということ。つまりビール醸造のハード面のプロであり、各地のブルワリーさんと厚い信頼関係で結ばれている人々がこの店を手がけているのだ。懸命なブルワリーが造る WIZ オリジナルビールが飲めたり、京都醸造など話題のブルワリーの銘柄が常につながれているほか、プロのプライドにかけて高いレベルでの設備メンテナンスを徹底。常に最高の状態でビールを飲むことができるのは、お客さんにとってもブルワリーにとってもうれしいこと。「僕らの仕事は、ブルワリーさんが工場で作ったビールを限りなく出来たての味で提供すること。店の設備のせいで本来のおいしさが伝わらないと生産者さんに申し訳ないし、うちの会社の看板にも傷がつきます(笑)。オリジナルの『外堀ウィットエール』は、創業当時からお手伝いさせても

らっているブリマブルーイングに造ってもらっていて、フルーティな香りと後味にホップの苦味を感じる、飲みやすいながらも面白いビール。値段も安くしているので、初めての方にオススメです。手間暇かけて生み出されるビールも、造り手の想いもとても大切にしているこの店。“良いビールには良い料理を”ということで、自家製のソーセージをはじめとする肉料理、ひと皿 300 円から楽しめるタパスなどリーズナブルなフードも一切手抜きはなし。金曜を除き毎日開催されるハッピーアワーには、すべてのレギュラーサイズのクラフトビールが 200 円オフになるというありがたいサービスも。

さあ、ビールがおいしく感じられるこれからの季節。マニアも初心者も、思う存分クラフトビールの世界に浸ってみては。

WIZ CRAFTBEER and FOOD

千代田区神田淡路町2-105 ワテラスアネックス108 ☎ 03-6206-8805

☎ 平日 11:30～15:00、17:00～23:00 土曜 11:30～23:00、日曜・祝日 11:30～22:00

(LO各フード1時間前、ドリンク30分前) 休 無休

HANG OUT MAP

ぶらぶらマップ

A

4月30日(日)～6月11日(日)

佐藤直樹個展「秘境の東京、そこで生えている」



佐藤直樹「そこで生えている」

アートディレクター・デザイナーの佐藤直樹は、2013年頃から木炭で身近な植物を描く連作「そこで生えている」に取り組み始めました。初の大型個展である本展では、86メートルものパノラマ作品や、30メートルを超える新作など、合わせて150メートルの壁を埋め尽くしてなお進化を続ける作品群を展示いたします。
<http://iithasgrown.com/>

- ・入場料 一般800円/シニア、学生700円/高校生以下、障害者無料
- ・時間 12:00～19:00
- ・火曜日休場
- ・会場 アーツ千代田 メインギャラリー



豊島屋本店

利き酒 GRILL
Mr. Happy

B

6月23日(金)～7月7日(金)

御茶ノ水ソラシティ七夕飾り

あなたの夢や願い事、大切な人に伝えたい想いを短冊に書いて館内に設置した笹竹に飾りつけてください。会期終了後、皆様の願いを七夕神社(媛神社・福岡県)へご奉納いたします。



- ・入場無料
- ・会場 御茶ノ水ソラシティ B1F・1F

やぶ仙

酒庫
神田和泉屋

靖国通り

illustration Mougi Kazuya



A 3331 ARTS CYO

C

6月30日(金) 11:00～、15:00～

夏越大祓式

盛夏に向けて無病息災を祈って、自分の名前を記した形代(かたしろ)に罪けがれを託し、心身を清め、茅の輪をくぐる行事です。

7月7日(金) 16:00～

七夕祭

この日のみ出会える彦星と織姫に短冊に書いた願いごとを叶えてもらうようお祈りいたします。どなたでも参加いただけます。

8月11日(金)～13日(日) 盆踊り

8月10日(木)～14日(月)※予定 納涼大会

今回神田明神にて二回目の開催となる納涼祭。グルメ・ビール祭りや打ち水なども同時開催です。

8月16日(水) 巫女さん入門講座

若い女性に日本の伝統文化に触れてもらい、神社に対する造詣を深めるために毎夏開催される人気講座。(要申込)

・会場 神田明神



かんだ やぶそば

常陸野
ブルーイング・ラボ

MAACH
Scute
KANDA MANSEIBASHI

加島屋酒店



AWAJICHO

クラフトピアマーケット
淡路町店

D

5月28日(日)

～1月14日(日)

「月の満ち欠け」

上原修一銅版画作品展

「One or More」ほりはたまお作品展

cafe104.5 店内左奥のレンガ面スペースでは銅版画作家 上原修一による「耳を咬む」などの作品を、店内正面のスペースではイラストレーターのほりはたまおによるモチーフの重なりやリズムをコンセプトとした新作を含む作品を展示します。www.cafe104.5.com/

- ・場所 ワテラスタワー 2F cafe104.5
- ・入場無料 会期中、貸切日等あり。HPよりご確認ください。



YONA
YONA
BEER WORKS
神田店

和酒や

*店は編集部が独自にセレクトしました。

KNOCK! KNOCK!

アーツ千代田 3331

設計 _ 佐藤 慎也氏 (日本大学理工学部建築学科教授)
古澤大輔氏、馬場兼伸氏、黒川泰孝氏 (以上三氏メジロスタジオ)

神田の建築物の数々を訪ねるこのコーナー、今回も建築設計事務所・オンデザインから小泉瑛一(よういち)さんが登場、「アーツ千代田 3331」について専門家の目線からその魅力を語って頂く。

閉校を迎えた千代田区旧練成中学校の再活用施設として 2010 年 6 月にオープン、地域のハブとなる施設である学校をリノベーションし、新たな施設として蘇らせる近年の潮流の先駆的存在。7 年を経た現在では都内最大級のアートコンプレックス (複合施設) として、世間的にもすっかり定着した感がある。館内で目に入る、細長い廊下の眺め、学校時代から引き継がれた椅子

や机など、学校としての面影が残る日常感の中で、1 階メインギャラリーを始め 20 を超える先進的なギャラリー／ショップ、イベントを親しむというギャップを楽しんだことのある人も多いはず。実はその他にも企業のオフィスや、備蓄倉庫を備えた地域の防災拠点としても機能している。

「高尚なものとして日常から分断されがちなアートですが、元学校という舞台の効果もあって、良い意味での敷居の低さがあって、地域の暮らしや日常と地続きになっているのがとてもイイですね。来るたびにそう感じます」。

アートがあり、神田のローカルライフがあり、誰もが安らぎを得られるピースフルな空間。



2 階体育館は、イベント会場としての利用の他、平日夕方は千代田区民のスポーツ利用にも活用されている。



今回施設をご紹介いただいたアーツ千代田 3331 の広報・稲葉智子さん(左)とオンデザイン小泉さん(右)。



美術作家・藤浩志氏によるカラフルな恐竜のアート作品が！



施設前に広がる練成公園は、かつて木々が鬱蒼と生い茂る公園だったという。手前にはウッドデッキが。



お昼ときには、手前の練成公園から1Fの広いエントランスにかけて、世代を問わず近隣の在住・在勤市民がやって来て、思い思いに憩いのランチタイムを過ごす。「公園へと伸びるウッドデッキなどの新調している部分があっても、昔からこの施設が存在していたかのような自然な雰囲気。手を加える、加えないを選択するそのさじ加減が絶妙なりノバージョンだと思えます。地域内外の様々な人々が同居できる、その空間的寛容さにも驚かされます」。公共建築ということもあり、どこを新調しつつどこを残すかを取り決め遂行するのは、手続き面も含めそう簡単にはできることではないそうだ。

総 評 オンデザイン代表・西田氏から



一流のアーティストから地域内外の子どもまでが創作・交流するアート空間としての繁栄と並行して、神田といういちローカルの施設としての「地域のシンボル」性も学校時代から変わらず健在、市民に開かれ愛されている。さらに企業による生産活動の場でもあるというこの多層ぶり、そしてそれらが互いに好影響を与えつつ日々循環しているそのありようは稀有です。

・株式会社オンデザインパートナーズ 横浜に拠点を置く建築設計事務所。
住宅からまちづくりまでを幅広く手掛ける。

神田祭「手古舞」体験レポート

熱狂のなかでひとつになる 心弾んだ一日

Text ワテラスチューデントハウス
立野 佐奈
(東京女子大学 現代教養学部)

ワテラスチューデントハウスに暮らす学生が、神田の魅力を内外に発信するコーナー。

去る5月、2年に一度の「神田祭」が今年も幕を閉じました。

今回は手古舞として参加した様子を、当日の熱い興奮とともにレポートします。



本番ひと月前の説明会にて。世話人からの暖かい激励のことばに、おのずと心奮い立つものが。



既に手古舞としての風格漂う、その眼差し。出番はもうすぐ。



興奮渦巻く境内。二年に一度とあって、神田の街全体の盛り上がりも格別。

「まあ、なんて華やかなのだろう！」手古舞の写真を見たときの私の第一印象でした。5月14日、私は祭りの最高潮である宮入り行列の先頭を担う「手古舞」というとても光栄な役を務めさせていただきました。ワテラスに入居して早二年目の春。一年間の地域交流活動を通して神田の街や人の温かさ、優しさに触れてきましたが、今年は待ちに待った神田祭！自分たちが神田の街の役に立てる良い機会になりました。

Photo Yuta Suzuki & Chie Maruyama

SPEAK OUT!



立野さん一行のお神輿も、淡路町二丁目から遠路はるばる神田明神へ宮入。



宮入後には、立野さんが華棒を担ぐ一幕も。お似合いですよ！



渡御の途中でパチリ。立野さん(左から二人め)の相棒の手古舞や高張提灯役など、この日祭りに参加したワテラスチューデントは多数。

祭りを翌月に控えた4月8日、顔合わせを兼ねたかつら合わせ、および説明会がありました。世話人の方々は「なんでも言ってくださいね！」といき強く声をかけてくださり、私たちが困ることのないよう準備万端に整えてくださっていたため、私の不安は吹き飛んでいきました。迎えた当日、人々の活気あふれた掛け声と熱気に自然と胸が高鳴っていくのを感じ、クライマックスの宮入にも心弾みました。祭りを終え、地域の皆さんとの距離がグッと近づき素晴らしい達成感を得ることが

出来ました。他の地域から引っ越してきた私たちでも分け隔てなくあたたかく迎え入れてくれ、私もこの街の一員であることの誇らしさと嬉しさがこみ上げてきました。「江戸っ子の中の神田っ子」という諺の通りの心意気を肌で感じました。

神田祭を経験し、先人からの伝統や文化を受け継ぐもの。そこには義理と人情を大切にすると人々との繋がりが、それを守り引き渡すことこそ今を生きる私たちの役割なのだと実感しました。

WE ARE AAM!

スウィングしながら乾杯！毎年恒例“音楽の祭典” JAZZ AUDITORIA 2017 in WATERRAS 開催レポート

今年もゴールデンウィークの始まりを告げる恒例行事、「JAZZ AUDITORIA 2017 in WATERRAS」が4月28日～30日の三日間で開催されました。今回は開催前から当日を含む十日間でワテラスモール内の対象各店舗でJAZZのBGMや、期間限定の特別メニューが楽しめる「JAZZY TASTE COLLECTION」、イベント期間中にワテラスモール内のレストランやバー空間を利用したミニライブも同時実施。その様子をレポートでお届けします！



ワテラス広場 野外特設ステージの観客席は今年もいっぱい！

4月21日からスタートした「JAZZY TASTE COLLECTION」。ワテラスタワー内店舗のあちこちで心地よいJAZZの音色が聞こえ、イベント当日に向けた高まりを感じさせます。特別メニューのネーミングもお店ごとが工夫を凝らしてJAZZを彷彿とさせるラインナップ。

さて当日のミニライブ。取材班がお邪魔した日の出演者は、田ノ岡三郎さん（アコーディオン）と高木大輔さん（ギター）のデュオでした。屋外メインステージでのライブ終了後、お二人が向かった

のは「つきじ竹若」「オットモキッチン」「羊肉酒場 0,19」「World Wine Bar by Pieroth」の四店舗。それぞれ二十分ほどの演奏で四曲の予定が、中には拍手が鳴り止まずアンコールが行われたお店も！お客さんの食事とお酒も自然と進み、あたたかなアコーディオンの音と一人一人に語りかけてくるようなギターの音が会場を包みます。短い時間ながら、お店に集うご家族やカップル、耳の肥えたJAZZファンを魅了しました。



各店舗の工夫が光る「JAZZY TASTE COLLECTION」特別メニュー。



客席からは拍手や歓声が起こりました。



二人でやるのは今回が初めてなんです。」と言う田ノ岡さんと高木さん。



演奏曲：（各店舗で4～5曲）
「酒とバラの日々」「My Favorite Things」「Les Avertures（田ノ岡三郎オリジナル）」「昨夜の事（高木大輔オリジナル）」「スタイルミュゼット」「Snow Bal Musette（田ノ岡三郎オリジナル）」「マイナースウィング」「ヌアージュ」

主 催 JAZZ AUDITORIA 実行委員会
共 催 一般社団法人淡路エリアマネジメント
株式会社ブルーノート・ジャパン
協 賛

ASTALIFT WHITE 株式会社 サカモト

安田不動産株式会社

大成建設
For a Lively World

AAMでは賛助会員を募集中です。現在のAAMの賛助会員は、一般社団法人千代田区観光協会、株式会社龍名館、第一実業株式会社。今後もAAMは地域交流を盛り上げる活動にご賛同いただける企業、団体と連携しながら、様々な交流の機会を提供していきます。